

GARRRRR GOODS REVIEW



足着き性を大幅に改善し乗りやすさと扱いやすさを向上するモディファイ

IMPALA

サスペンションモディファイ

価格:6万3000円(前後とも)+スプリング代
 ■インバラ ☎072-785-0061 ktm-impala.com



①③がノーマルで②④がモディファイ。モディファイ後では片足がベタリ着いているのが一目瞭然。サスペンションを50mmショートストローク化することで足着き性を改善している。1Gでの沈み込みが多くなるので、最低地上高も低くなるのがデメリットだが、「これだけ車重のあるバイクだから、ノーマルではアクションしようと思えない。むしろ足が着くことのできるアクションが増えるからノーマルより行ける場所は増える。だからデメリットはない」という評価⑤⑥ユニット外寸は変わらない。ショートストローク化に合わせてサイドスタンドが同梱。ライダーに合わせたスプリングを使用するので、スプリング代金もそれに合わせて変わる

REVIEWER
 のオススメ

足着き性改善で乗る楽しさを増やしてくれる



Introduction

ハイパワートレールバイクとして人気のKTM690エンデューロ。高速巡航の快適さは抜群だが、多くの日本人ライダーにとって足着き性が悪く、取りまわしに苦労する面があるのも事実。そんな690エンデューロの走行性能をスポイルすることなく、足着き性を大幅に改善するサービスが兵庫県のKTM専門店「ショップ・インバラ」で始められた。

その内容は前後サスペンションのモディファイ。シムセッティングなどは変更せずに、ストローク量とスプリングレートを変更。その結果、50mmショートストローク化することで足着き性を改善するというものだ。スプリングレートはライダーの体格に合わせて変更でき、フロントフォーク伸び・圧側をソフトに調整することで、乗り心地自体もソフトに上げることが可能。サスストローク量は減るものの、前後ともに200mmを確保。690エンデューロの車格を考慮すれば、林道走行で支障のないレベルにまとまっていると言えるだろう。なお、このモディファイはKTMの他モデルでも行うことができる。

Review

「足が着く安心感があるから、行ってみようという気持ちになるんだよね。だから、片足つま先立ちがやっとなというノーマル状態では、ダートでのアクションライディングはしたくないというのが本音だね。車重もあるし、でも、モディファイ状態では片足をベタリ着くことができるから、安心感は比べものにならないくらい大きい。車重は変わらないけれど、やってみようかなという気持ちが出てくるよ」と、身長170cm、体重70kgの小林直樹氏。

「おれの体重に合わせたスプリングレートでセッティングもソフトだから、荷重をかけると前後サスがスツクが入ってくれる。アクションのきつかけがすくつかみやすくなっているんだ。ストローク量が減ってグラウンドクリアランスも減っているけれど、車重があるからできるアクションは変わらない。むしろきつかけをつかみやすくなった分、扱いやすくなったね。移動時も重心が低くなつて安定感が増えるし、デメリットはないと言えるね。この仕様を純正にしてほしいと思ったよ」と、かなりの高評価を得た。